

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月13日

計画の名称	小野市における水環境の整備（3）（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	小野市													
計画の目標	集中豪雨の多発に対し総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		320	A	320	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末
1	下水道による都市浸水対策の達成率を58%（R5）から65%（R9）に増加			
	下水道による都市浸水対策達成率（%）	58%	61%	65%
	概ね10年に1回程度発生する規模の雨量に対して安全である区域の面積（ha）／都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）（635ha）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

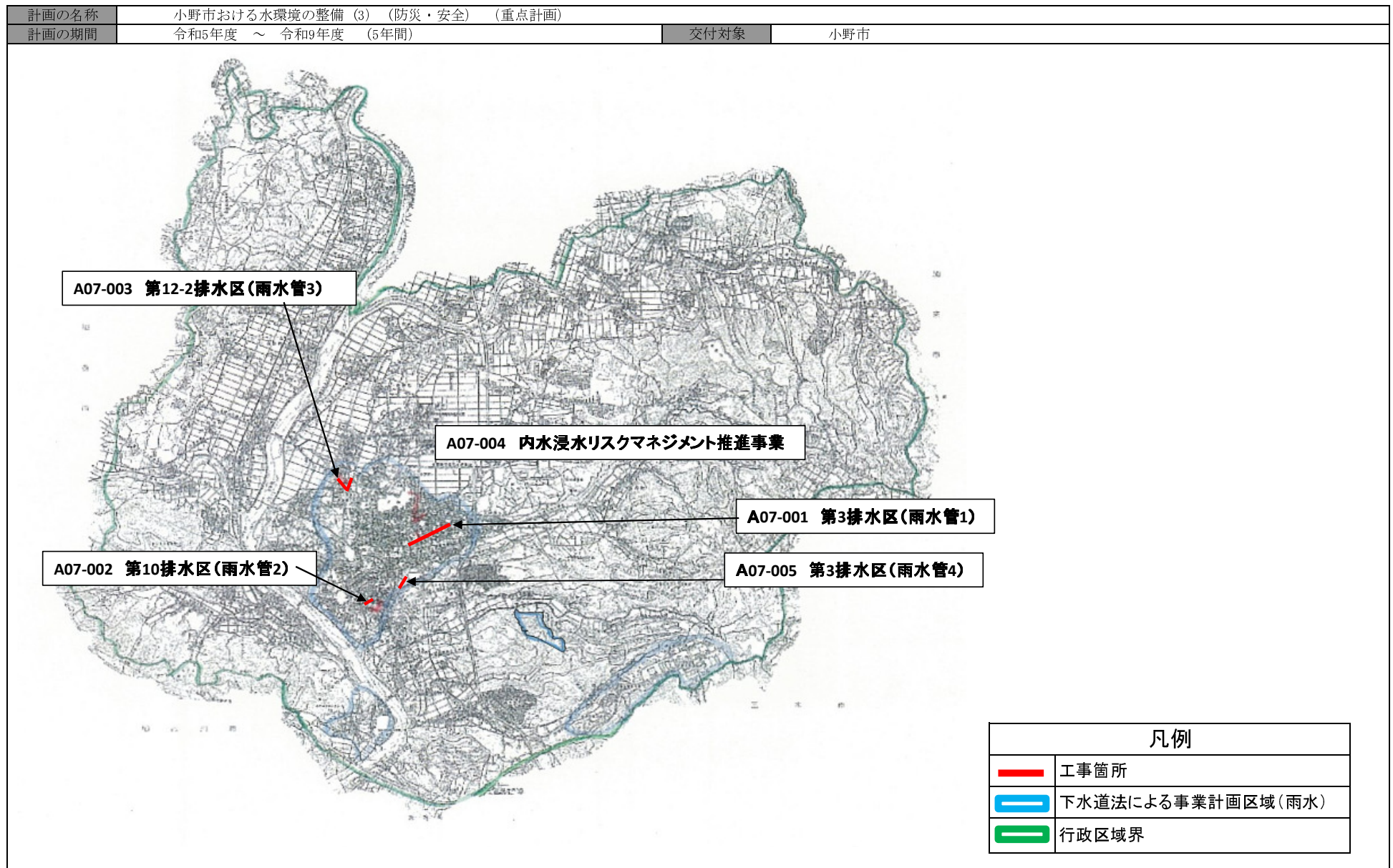
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 雨水）	新設	第3排水区（雨水管1）	□700×700～700×800 L=300m	小野市	■	■				40		—
	A07-002	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 雨水）	新設	第10排水区（雨水管2）	U600×500 L=200m	小野市	■	■				30		—
	A07-003	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 雨水）	新設	第12-2排水区（雨水管3）	φ300～900 L=500m	小野市	■	■	■	■	■	120		—
	A07-004	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 雨水）	—	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	内水ハザードマップ作成 内 水浸水想定区域図作成	小野市	■	■	■			40		—
	A07-005	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 雨水）	新設	第3排水区（雨水管4）	実施設計業務 N=1式	小野市		■	■	■		90		—
										小計						320			
										合計						320			

交付金の執行状況

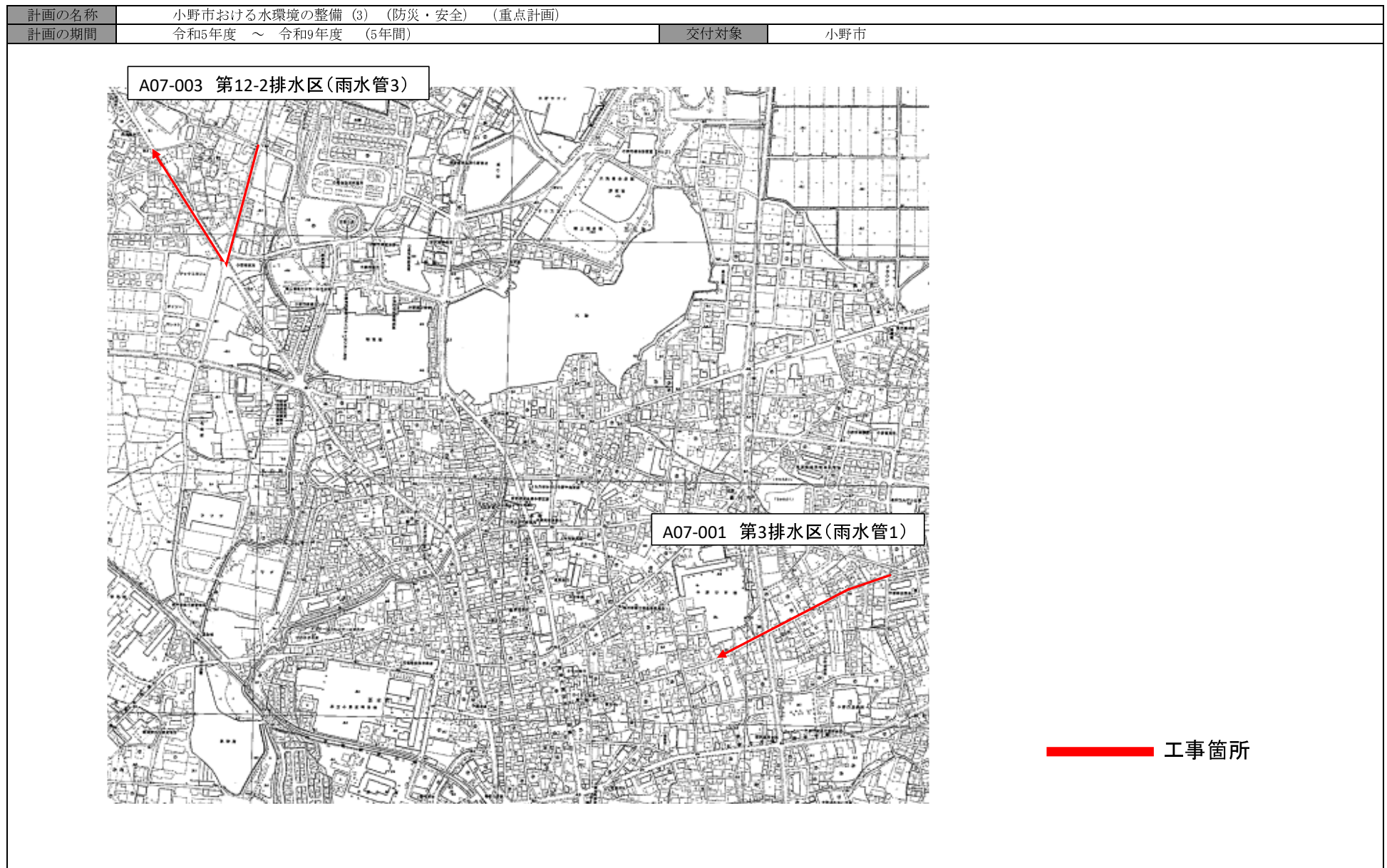
(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	84	29			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	84	29			
前年度からの繰越額 (d)	0	59			
支払済額 (e)	25	88			
翌年度繰越額 (f)	59	0			
うち未契約繰越額(g)	7	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	8.33	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

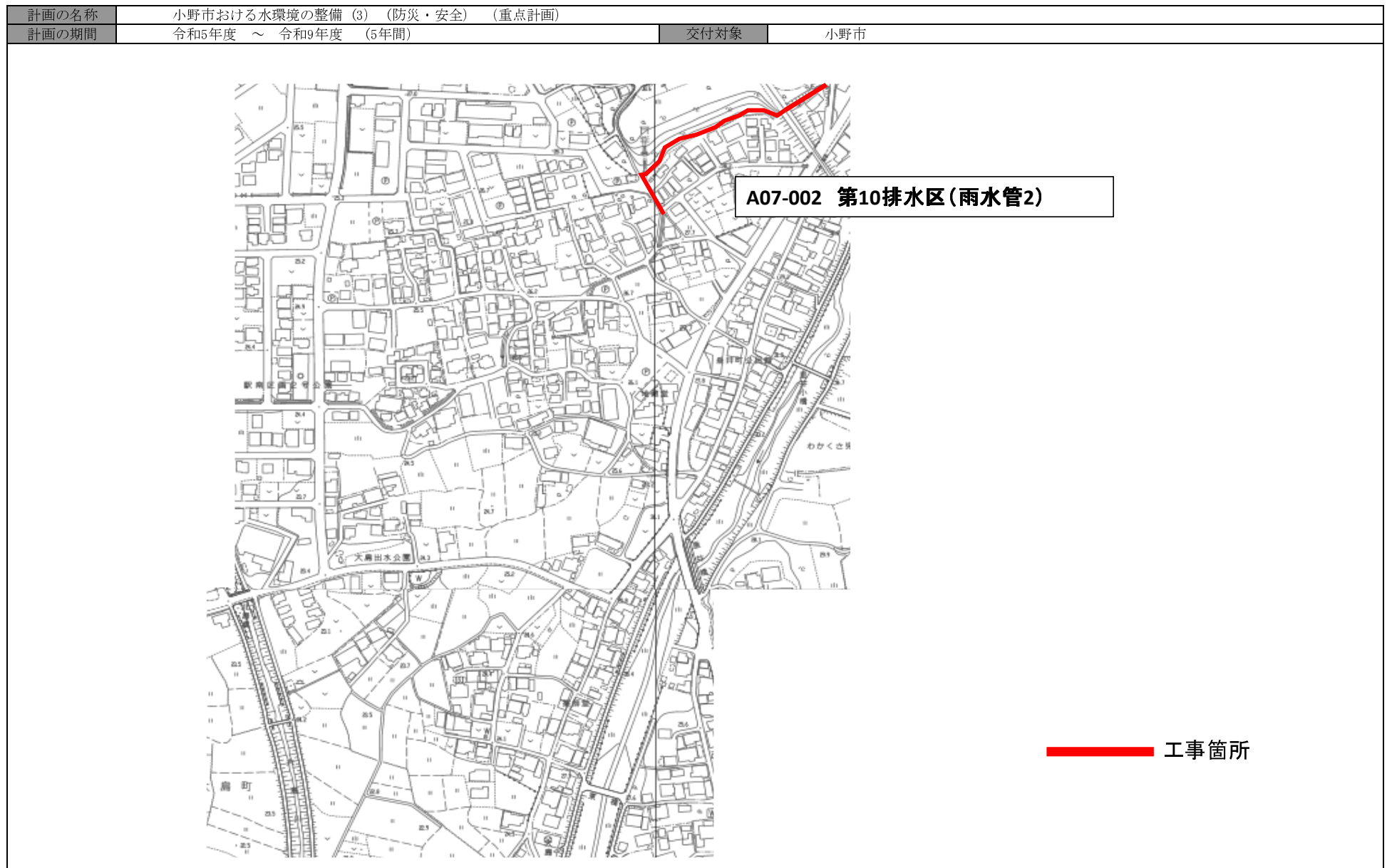
(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))



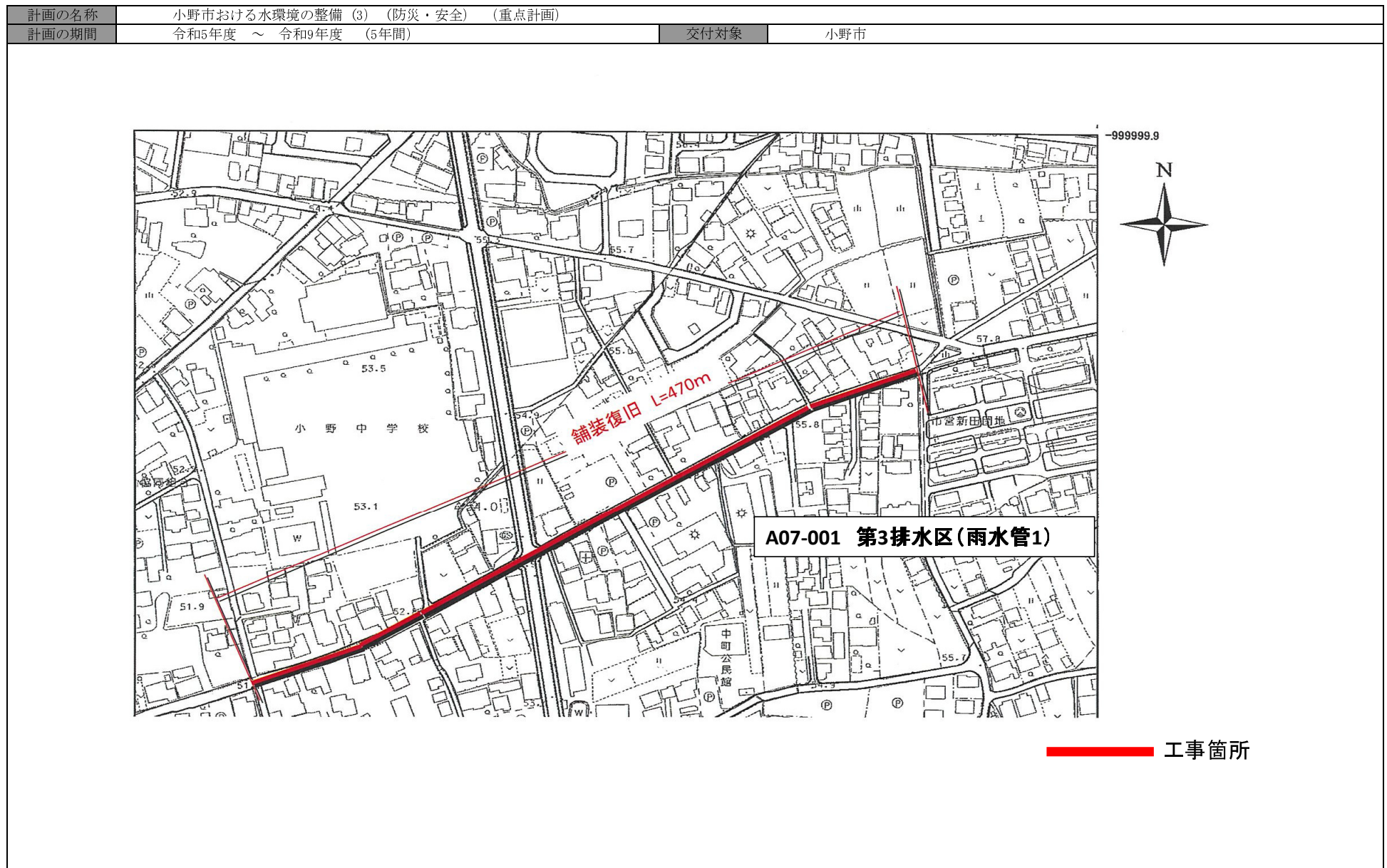
(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))



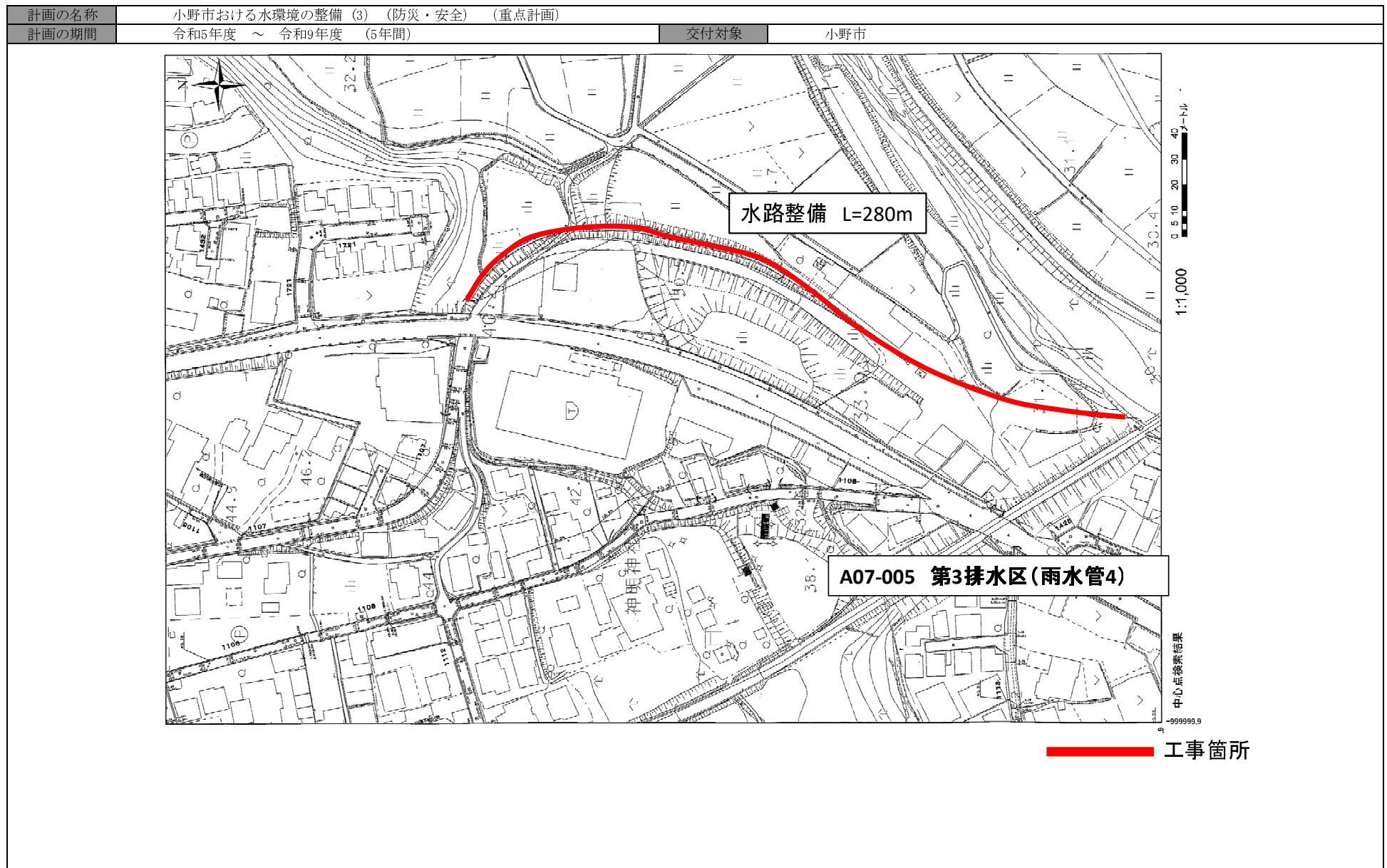
(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))



(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))



(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))



事前評価チェックシート

計画の名称： 小野市における水環境の整備（３）（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 １）上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 ２）下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 ３）関連する諸計画（河川整備計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域課題への対応 １）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域課題への対応 ２）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭製 １）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 １）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 ２）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 ２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 ２）関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 １）事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 ２）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○